保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合
   　(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	**ポータブルCD/MP3/ラジオ**			**★お買い上げ日：　年　月　日**
型　番	**RCR-80Z -W/P/K**	**品　番**	**07-3880/ 3881/3882**	**保証期間：本体1年間（お買い上げの日から）**

お客様	ふりがな **★お名前**　　**様** **★ご住所** **電話**　(　　)
修理メモ	
販売店	**★住所　店名　電話** 印

見本

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは **お客様相談室** へ
●通話料無料 0120-963-006　●携帯・IP・公衆電話からは 048-992-2735
電話受付 平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00　日曜・祝日及び年末年始は除きます

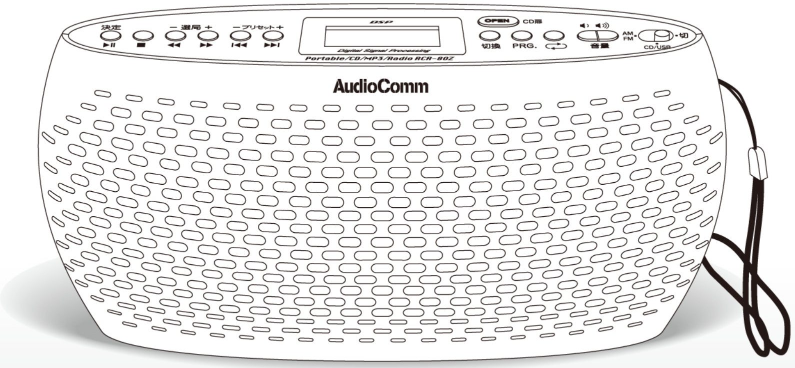
修理に関するご相談は **修理ご相談センター**へ
電話受付 048-992-3970 平日 9：00～17：00　土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-3880/3881/3882A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

ポータブルCD/MP3/ラジオ
型番：RCR-80Z-W/P/K　品番：07-3880/3881/3882



このたびは、AudioComm®ポータブルCD/MP3/ラジオをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……………………………………………… 1
安全上のご注意 ………………………………… 1～3
ご使用になる前に
　CDについて ……………………………………… 4
　USBメモリーについて ………………………… 5
電源について ……………………………………… 5
各部の名称…………………………………………… 6
ラジオを聴く ……………………………………… 7
CDやUSBメモリーの音楽を聴く ……… 8～10
ヘッドホンで聴くときは ……………………… 11
故障かなと思ったら …………………………… 11
主な仕様……………………………………………… 12
お手入れのしかた ……………………………… 12
保証書とアフターサービスについて ………… 13
保証書……………………………………………裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
●本製品によって生じたデータの消失または破損
●本製品のために費やした時間及び経費
●本製品を運用した結果もたらされた損害
●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
（左図の場合は感電注意が描かれています。）

○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）

●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
（左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**本製品を使用するときは必ず付属のACアダプターコードを使う。** **また、付属のACアダプターコードは絶対に他の製品には使用しない** ●付属のACアダプターコードは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、ACアダプターをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	禁止	**ACアダプターコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	禁止	**本機やACアダプターコードの上に重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。	修理を依頼	**ACアダプターコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	禁止	**ACアダプターコードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターコードに触れない**	禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**ACアダプターコードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

次ページに続く

⚠注意

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
●感電の原因となることがあります。

禁止

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずアダプター本体を持って抜いてください。

コンセントから抜く

お手入れの際や移動させるときはACアダプターをコンセントから抜く
●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

極性に注意

乾電池は極性表示(⊕⊖)に注意し、正しく入れる
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

指定以外の乾電池は使わない
●乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ストラップを持って、本機を強く揺すったり、回したりしない
●けがをするおそれがあります。
●ストラップが切れて、本機が破損したり、FMラジオが受信できなくなるおそれがあります。

禁止

電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波により、お互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

禁止

CDプレーヤーのピックアップレンズをのぞき込まない
●レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

コンセントから抜く

旅行などで長時間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災・液もれの原因となることがあります。

音量は小さく

音量を抑える。大音量にしない
●周囲の迷惑になります。
●大きな音で聴き続けると、聴力障害などの原因となることがあります。

注意

乳幼児や子供に触れさせない
●お子様がCDドアに手を入れないようにご注意ください。指を挟んだりして、けがの原因となることがあります。

掃除をする

ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に掃除する
●ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にプラグのほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。
●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない
⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

ご使用になる前に

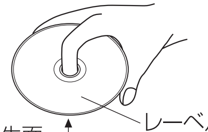
CDについて

結露について

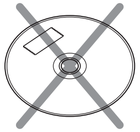
寒いところから急に暖かいところに移動させると、レンズに水滴がついたり、くもったりする結露現象が起こります。この状態で使用すると、正しく動作しないことがあります。このようなときはディスクを取り出して数分間放置してください。結露が取り除かれて正常に動作するようになります。

ディスク取扱上の注意点

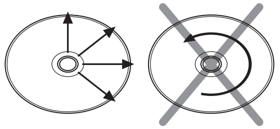
◆再生面に触れないように持ってください。



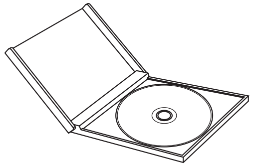
◆再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



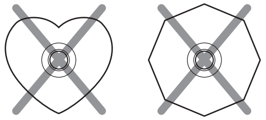
◆ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで放射状に軽く拭き取ってください。



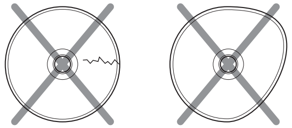
◆長い時間使用しないときは、ディスクを本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。



◆ハート型や八角形などの特殊形状のディスクは、使用しないでください。機器の故障の原因となります。



ディスク使用上の注意点



◆再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびやそりのあるディスク、割れたり変形したディスク、テープや接着剤で補修したディスクなどは危険ですから絶対に使わないでください。

◆ディスクに COMPACT disc DIGITAL AUDIO　CD SINGLE のマークが入ったものをご使用ください。

◆現在発売されている「コピーコントロールCD」と呼ばれる著作権保護技術付音楽ディスクは、コンパクトディスク(CD)規格に準拠しない特殊ディスクであり、本製品における再生にあたっては、動作や音質の保証は致しかねます。
音楽ディスクパッケージの表示をよくお読みください。
なお「コピーコントロールCD」の詳細に関しては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

コピーコントロールCD
コピーコントロールCDのマーク

◆本機はCD-R／CD-RWの再生に対応していますが、以下の点をご注意ください。
・CD-R／CD-RWディスク、レコーダー、書き込みソフトウェアの種類·状態によっては、再生できなかったり、ノイズや音飛びが生じる場合があります。
・ファイナライズ処理がなされていないディスクは再生できません。
・本機ではMP3ファイル(MP3オーディオファイルをデータ形式で記録)以外の圧縮されたフォーマットの音楽ディスクの再生はできません。
・MP3ファイルの対応ビットレートは32～320kbpsです(注:推奨サンプリング周波数は44.1kHzです。また、すべてのMP3エンコーダーに対応しているわけではありません)。

◆DualDisc(DVD規格に準拠した面とデジタルオーディオ情報を記録した音楽専用面を持つディスク)は、コンパクトディスク(CD)規格には準拠していないため、本機では再生できない場合があります。

USBメモリーについて

本機ではUSBメモリー内の音楽ファイル(**MP3ファイル**)を再生して楽しむことができます。
本機は32MB～最大32GBの容量までサポートしていますが、以下の制限がありますのでご注意ください。

●対応ビットレート／ 32～320kbps　　●DRM(著作権保護)付きファイルは再生できません。

●本機では1つのフォルダーにつき最大999個のファイルを認識し、再生できます(フォルダー階層は最大20階層まで認識)。その際、再生可能な総ファイル数は1999個となり、それを超えると再生できない場合があります。また、フォルダーが入れ子の場合、中に入っているフォルダーもフォルダー数に算入されます。

※上記容量を超えるフォルダー／ファイルは読み込まれません。また、上記の仕様内であっても、メディアの状態やフォルダーの階層構造、ファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数等が実際の数と違って表示されることがあります。

●ファイル名に「.mp3」の拡張子が付いていることを確認してください(拡張子がない場合や、「.mp3」以外の拡張子が付いている場合は再生できません)。読み取り不可能なメディアが装着された場合は「no」と表示されます。

●本機がUSBメモリー内のファイルを読み込む順序は以下の通りです。
1.フォルダーはルート階層から順に深い階層へ。同一階層は収録の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。
2.同一階層にあるファイルは、収録順序の古いほうから新しいほうへ順に読み込まれます。

●ディスクやファイル記録時のレコーダーの状態によっては、再生開始までに時間がかかったり、再生されない場合があります。

電源について

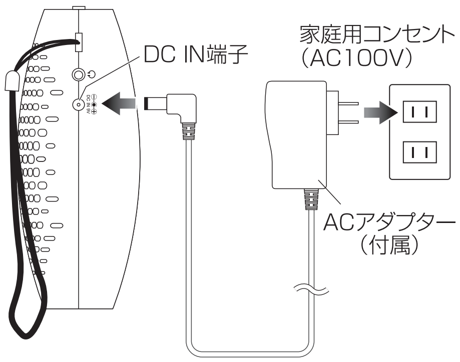
⚠ ACアダプターを抜き差ししたり、乾電池を出し入れするときは、電源が切れた状態で行なってください。

家庭用電源で使う場合

付属のACアダプターで本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続します。

◆乾電池が入っている場合でも、ACアダプターを接続すると自動的にAC電源に切り換わります。

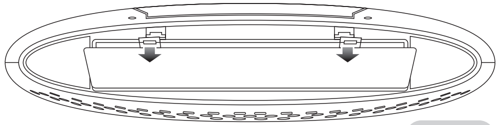
◆本機を使用しないときはACアダプターをコンセントから外してください。



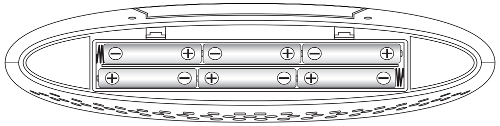
乾電池で使う場合

アルカリ乾電池のご使用をお薦めします。

❶ 底面にある電池カバーのツメを外して開けます。



❷ 乾電池の向きに注意しながら図のように正しく入れてください。コイルばねのあるほうが⊖側です。



単3形乾電池6本使用(別売)

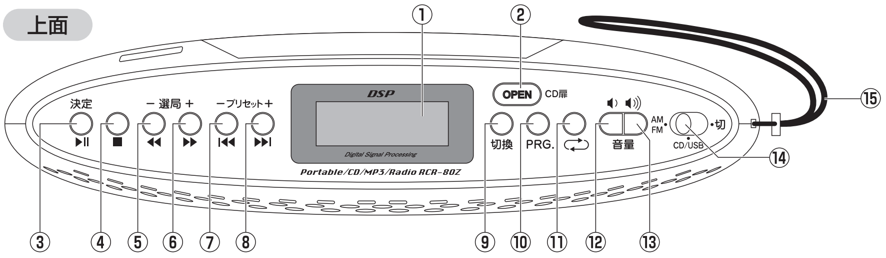
※下段(奥)に先に入れ、次の上段(手前)を入れます。リボンの上から装着すると取り出しやすくなります。

❸ 入れ終わったら乾電池カバーを元どおりにしっかり閉めます。

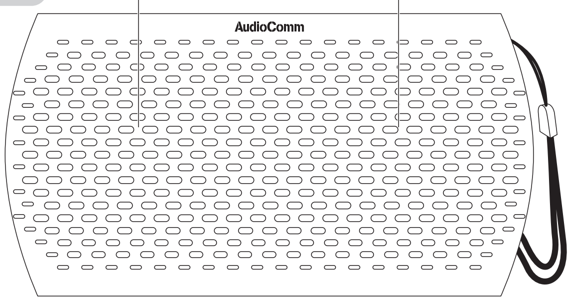
ご注意 付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

各部の名称

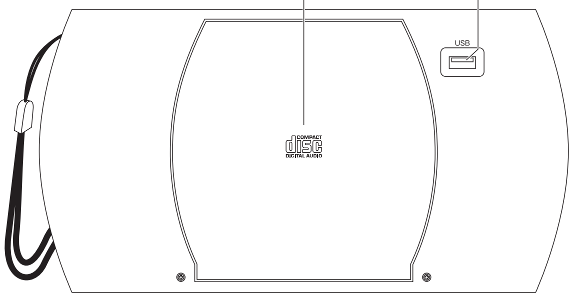
上面



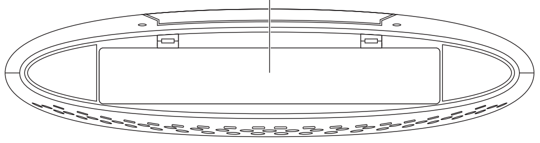
前面



後面

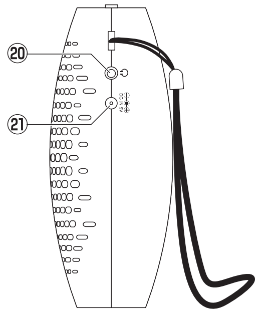


底面



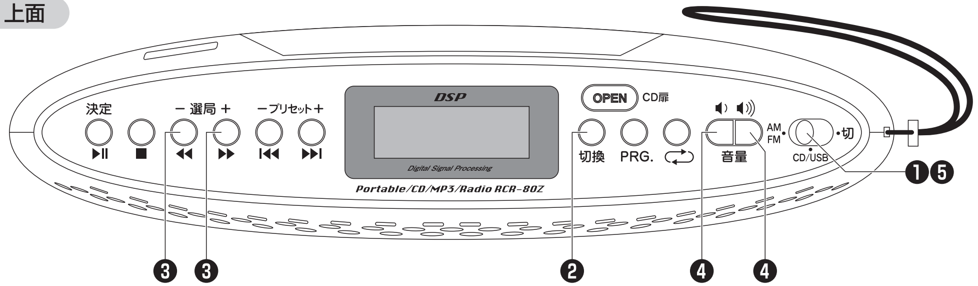
①ディスプレイ
②CDドア開ボタン
③再生／一時停止／決定ボタン
④停止ボタン
⑤選局ボタン(－)
⑥選局ボタン(＋)
⑦プリセットボタン(－)
⑧プリセットボタン(＋)
⑨切換ボタン
⑩プログラムボタン
⑪リピートボタン
⑫音量ボタン(－)
⑬音量ボタン(＋)
⑭電源／ファンクションスイッチ
⑮ストラップ(兼FMアンテナ)
⑯スピーカー
⑰CDドア
⑱USBポート
⑲乾電池カバー
⑳ヘッドホン端子
㉑DC IN端子

右側面



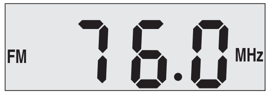
ラジオを聴く

上面



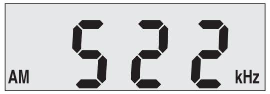
❶ 電源／ファンクションスイッチを「AM/FM」に合わせます。

ディスプレイが点灯し、ラジオを受信します。



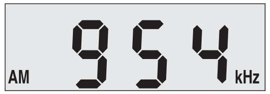
❷ 必要に応じて切換ボタンを押し、バンドを選びます。

ボタンを押すたびにAMとFMが切り換わります。



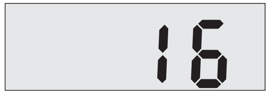
❸ 選局ボタン(−／+)を押して、お聴きになりたい放送局に合わせます。

選局ボタン(−／+)を短く押すと
- ●AMでは9kHzごと
- ●FMでは0.1MHzごとに送られます。



❹ 音量ボタン(−／+)を押して音量を調節します。

約2秒間、音量が表示されます。
音量の上げすぎにご注意ください。



❺ 終了するときは電源／ファンクションスイッチを「切」に合わせます。

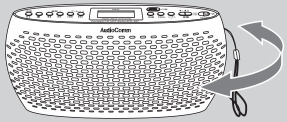
ディスプレイが消灯します。

ヒント
受信状態をよくするには

一般に窓際のほうがより良くラジオを受信できます。

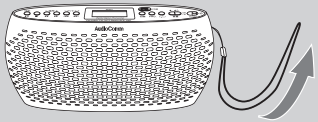
AMの場合

本機にはアンテナが内蔵されていますので、ラジオの向きを変えてみて最もよく聴こえる場所･向きでお楽しみください。



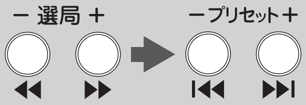
FMの場合

ストラップがFMアンテナを兼用しています。ストラップを丸めたり、何かで覆い隠さず、最もよく聴こえる方向に伸ばしてください。



ヒント **オート選局**

選局ボタン(−／+)を長押しすると、周波数が送られ、選局可能な放送局を自動で登録していきます。その後、プリセットボタン(−／+)を押すと、登録された放送局を呼び出して聴くことができます。



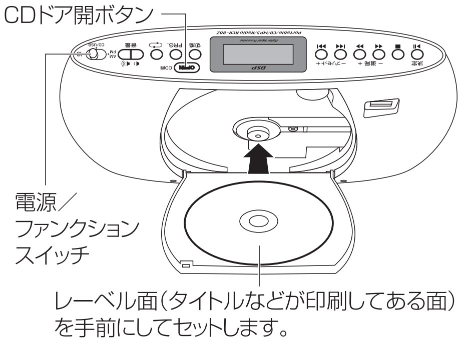
CDやUSBメモリーの音楽を聴く

CD(Audio CDやMP3のCD-R ／ RW)とUSBメモリーでは、電源オンとメディアのセッティングの順番が異なります。以下の説明をよくお読みのうえ、正しく操作してください。

❶ 【電源オンとメディアのセッティング】
お聴きになるメディアに応じて正しく操作してください。また、ディスクやUSBメモリーの着脱時は、本機が倒れたりしないよう、手でしっかりと本機を押さえて行なってください。

CD(Audio CDやCD-R ／ RW)の場合

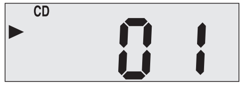
電源を入れた後にディスクを装着します。



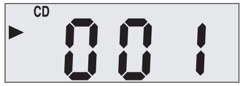
Ⓐ 電源／ファンクションスイッチを「CD/USB」に合わせます。

Ⓑ CDドア開ボタンを押して、CDドアを開けます。

Ⓒ レーベル面を手前(CDドア側)にしてCDをセットし、CDドアを閉めます。
"カチッ"と音がするまで丁寧に閉めてください。



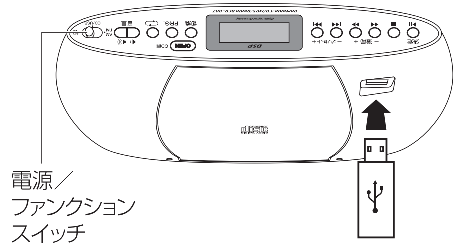
Audio CDの再生表示例



CD-R ／ RWの再生表示例

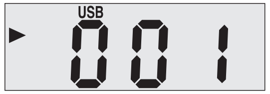
USBメモリーの場合

電源が切れた状態で、USBメモリーを装着し、その後電源を入れます。



Ⓐ USBメモリーをUSBポートに装着します。
差し込む向きを間違えないように気をつけて、しっかりと奥まで装着してください。

Ⓑ 電源／ファンクションスイッチを「CD/USB」に合わせます。



USBメモリーの再生表示例

どちらの場合も、正しく読み込まれると自動的に1曲目から再生が始まります。
音量ボタン(−／+)で音量を適切に調節してください。

ご注意
- ●再生できないメディアがセットされた場合、ディスプレイに「no」が表示されます。本機での再生に適したメディアかどうか、ファイル形式が対応しているか、メディアやディスクが汚れていたり変形していないか、などを確認してください。
- ●規格を満たす場合でも、メディアにコピーしたときの状態によって再生できないことがあります。このようなときは別のメディアにコピーし直して試してください。
- ●再生中は曲番号が表示されます(経過時間表示はありません)。

次ページに続く

2 再生中は以下を参照して、操作してください。

ボタン		機　能
決定 ▶II	再生／一時停止／決定ボタン	再生の一時停止⇆再開（一時停止中は▶が点滅します）。
■	停止ボタン	再生を停止します（全曲数を表示します）。
− 選局 ＋ ◀◀ ▶▶	選局ボタン（−／＋）	長押しで早戻し／早送りします（断片的な再生音が聴こえます）。指を離すと通常再生に戻ります。
−プリセット＋ I◀◀ ▶▶I	プリセットボタン（−／＋）	一つ前の曲（次の曲）を再生します。
切換	切換ボタン	USBとCDを切り換えます（メディアが装着されていない場合は「no」と表示されます）。
⇄	リピートボタン	リピートモードを設定します。①…再生中の曲を繰り返し再生　↻…メディア内の全曲を繰り返し再生 ※フォルダー単位のリピート再生はできません。
音量	音量ボタン（−／＋）	音量の調節（0〜30）

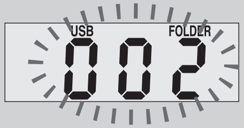
ヒント

●フォルダー番号や曲番号の表示について

本機ではフォルダーや曲番号は「01」または001から順に割り振られます。　※ID3タグ表示には対応しておりません。

●フォルダー階層を持つメディアについて

フォルダー階層を持つメディアの場合は、プリセットボタン（−／＋）を押して曲を移動する際、各フォルダーの最初（または一つ前のフォルダーの最後の曲）になると、一時的に「FOLDER」が表示され、フォルダー番号が点滅します（約3秒経つと、曲番号表示に変わります）。



別のフォルダーに移動すると、約3秒間「フォルダー」とフォルダー番号を表示

3 終了するときは、停止ボタンを押して再生を停止し、その後、電源／ファンクションスイッチを「切」に合わせます。

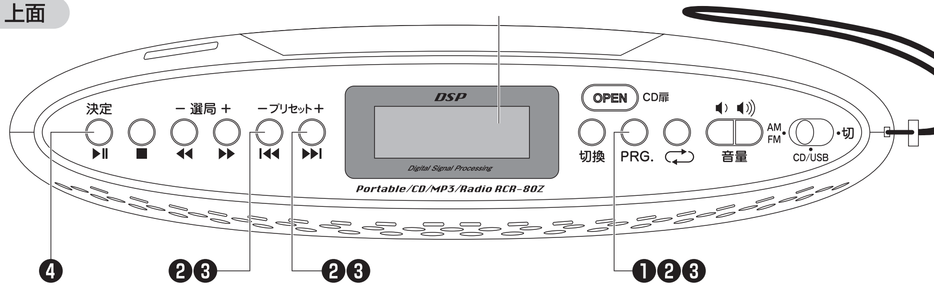
ご注意　**USBメモリーを取り外すときは**／切換ボタンを押してファンクションをCDに切り換えるか、電源を切ってから行なってください。USB選択中にメディアを取り外すと、メディア内のデータを破損するおそれがあります。

プログラム再生

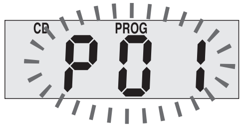
登録は再生停止時に行なってください。

本機では、最大20曲までお好きな曲順を登録して再生することができます。

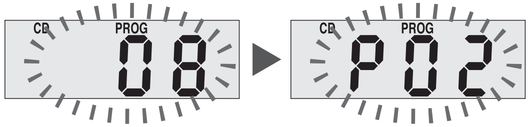
上面



1 再生停止中に、プログラムボタンを押します。
「P01（プログラム番号）」と「PROG」が点滅します。

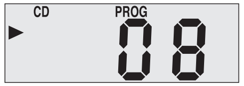


2 プリセットボタン（−／＋）を押して、登録したい曲番号を選び、プログラムボタンを押します。
1曲目の登録が終わるとP02へと表示が変わり、2番目に登録したい曲を選べるようになります。



3 登録したい曲順で、ステップ2の操作を繰り返します。

4 登録がすべて終わったら、再生／一時停止／決定ボタンを押します
=プログラム再生開始



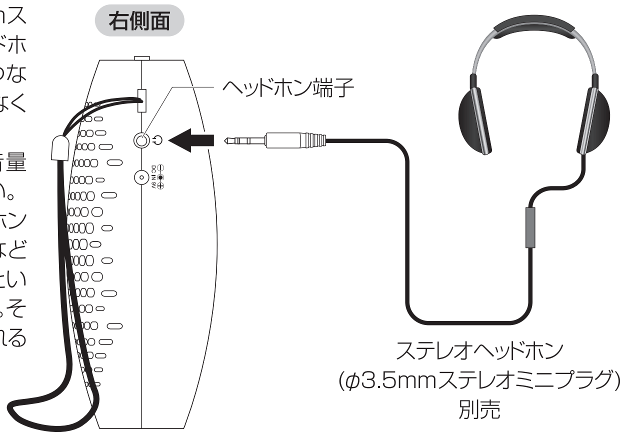
プログラム再生時は「PROG」マークが表示されます。

ヒントとご注意

- ●何も操作しない時間が約65秒間続くと、設定操作がキャンセルされます。その際はもう一度最初からやり直してください。
- ●メディアをまたいでのプログラム登録はできません。
- ●フォルダー階層ありの場合、フォルダーをまたいでのプログラム登録はできません。
- ●以下の場合、プログラム内容が破棄されます。
  - ・プログラム再生時に停止ボタンを2回続けて押したとき
  - ・CDドアを開けたとき
  - ・他のファンクションに移行したとき
  - ・電源を切ったとき
- ●プログラム再生とメディア内の全曲リピートを併用すると、プログラムした曲順でリピート再生できます。
- ●プログラムを修正したいときは、プログラムボタンを数回押して修正するプログラム番号を表示させます。その後、プリセットボタン（−／＋）で新しい曲番号を選び、プログラムボタンを押します（プログラム再生中の場合は、停止ボタンを1回だけ押した後、同様の操作を行なってください）。

ヘッドホンで聴くときは

●別売のステレオヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を右側面のヘッドホン端子につなぎます。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからの音は聴こえなくなります。
●ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。
●家庭用コンセントでご使用時、ヘッドホンでお聴きになると、ハム音(ラジオなどの音声に混じって聴こえる「ブーン」という音)が耳障りになることがあります。その場合は、乾電池にてご使用になられるようお願いいたします。



故障かなと思ったら

症　　状	確　認　事　項
電源が入らない	●乾電池が正しく装着されていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●ACアダプターが本機及び家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか。 ●電源／ファンクションスイッチが「切」のままではありませんか。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●ヘッドホン端子にヘッドホンが差し込まれていませんか。
CDまたはUSBメモリーの再生が始まらない、音がとぶ	●電源／ファンクションスイッチが「CD/USB」の位置に正しく合わせられていますか。 ●切換ボタンを押して正しいファンクションを選びましたか。 ●CDまたはUSBメモリーが正しく装着されていますか。 ●一時停止状態ではありませんか。 ●CDやUSBメモリーは本機規格に適した仕様のものですか。 ●CDやUSBメモリー内のファイルは本機での再生に適した形式ですか。 ●データが破損していませんか。 ●ディスクが裏返しになっていませんか(CD)。 ●ディスクの信号面に汚れやキズがありませんか(CD)。 ●レンズが結露もしくは汚れていませんか(CD)。 ●傾斜した場所や振動のある場所に本機を置いていませんか。
ラジオが受信できない雑音が入る	●電源／ファンクションスイッチが「AM/FM」の位置に正しく合わせられていますか。 ●音量が最小になっていませんか。 ●電波の弱いエリアであったり、近くにノイズを発する機器などがありませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか(本機から携帯電話を離してご使用ください)。 ●蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。本機を離してご使用ください。 ●ストラップが丸まっていませんか。伸ばして使用してください。
ラジオは聴けるがUSBメモリーやCDの再生ができない	●乾電池が消耗していませんか。新しい乾電池と交換してください(乾電池使用時)。

主な仕様

項目	内容
電　　源	専用ACアダプター　DC9V　1A　⊖-◐-⊕ DC9V(単3形乾電池×6本／別売)
実用最大出力	1W+1W
受信周波数	**FM**：76 ～ 108MHz　　**AM**：522 ～ 1629kHz
アンテナ	**FM**：ストラップ(兼用)　　**AM**：フェライトバーアンテナ(内蔵)
乾電池での連続使用可能時間の目安※	**スピーカー出力時**／ AMラジオ：約20時間　FMラジオ：約20時間 CD：約3時間　USBメモリー：約8時間
	ヘッドホン使用時／ AMラジオ：約20時間　FMラジオ：約20時間 CD：約4時間　USBメモリー：約9時間
対応メディア	**CD**：Audio CD、CD-R ／ RW （MP3オーディオファイルをデータ形式で記録した場合 ビットレート：32～320kbps　推奨サンプリング周波数：44.1kHz）
	USBメモリー：32MB～32GB （ビットレート：32～320kbps　推奨サンプリング周波数：44.1kHz）
外形寸法	幅268×高さ143×奥行68mm　（突起物を除く）
質　　量	約630g(乾電池含まず)
付　属　品	専用ACアダプター、取扱説明書(保証書)

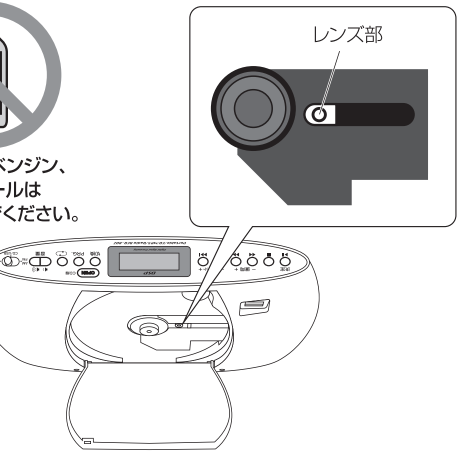
※音量 15 程度で、新品のアルカリ乾電池を使用した場合の目安。周囲の温度や使用状況、乾電池の種類により、異なることがあります。
※仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れのしかた

●本体のクリーニング
表面の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ、軽く拭いた後で乾拭きしてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールは使用しないでください。

●CDレンズ部のクリーニング
レンズの汚れは音飛びなど正常な再生ができなくなる原因となります。
CDドアを開け、レンズについたホコリやゴミを市販のブロワー(エアスプレー)でクリーニングしてください。
※布や綿棒などをレンズに当てないでください。故障の原因となります。



保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より１年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。